

2015年5月19日

報道関係者各位

株式会社協和企画

満を持してより高い完成度で改訂版登場！！
『喘息予防・管理ガイドライン 2015』
第64回日本アレルギー学会学術大会会場で販売を開始します。

株式会社協和企画（代表取締役社長：小西庸一、本社：東京都港区）は、5月26日、第64回日本アレルギー学会学術大会会場（グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール）にて、『喘息予防・管理ガイドライン 2015』の販売を開始します。

学会販売以外の注文（予約）は全国の医書取扱書店、弊社ホームページで受付中です。

* 発送は6月2日以降、順次発送します。

【概要】

◎ **監修**：一般社団法人日本アレルギー学会喘息ガイドライン専門部会

◎ **作成**：「喘息予防・管理ガイドライン」作成委員会

◎ **発行**：株式会社協和企画

◎ **定価**：本体 3,700 円 + 税

◎ **体裁**：B5 判、約 320 ページ、アジロ無線綴じ

◎ **改訂・変更のポイント**：

・「喘息の治療目標」が見直されました。

「喘息治療の目標」が、①現在の症状や薬の副作用がなく健常人と同様の生活が送れること、②将来にわたり呼吸機能を維持して増悪や喘息死を回避することの2点を強調するため、前版の7項目から5項目へ改訂されました。

・新規薬剤の作用機序や具体的な使い方が記載されました。

ガイドラインに沿った治療でも症状が残る重症持続型喘息に対して長期管理薬に長時間作用性抗コリン薬（LAMA）が追加されています。

・難治例への対応が図と表で解説されました。

治療によっても良好なコントロールが得られない、いわゆる難治例に対して、確認項目が一覧表とされ、さらにフローチャートで手順が解説されました。

・喘息と COPD が合併・併存する ACOS など種々の合併・併存症が解説されています。

合併する疾患が喘息の修飾因子という考え方が強まる傾向にあり、種々の合併・併存する疾患が重要視され、Asthma-COPD Overlap Syndrome（ACOS）などが詳述されています。

本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社協和企画 〒105-8320 東京都港区虎ノ門 1-10-5 日土地虎ノ門ビル

担当：鹿田 TEL:03-6838-9221 e-mail:genn@kk-kyowa.co.jp